

大きくなったよ！～移し替えと田植え～

水に入れて“芽出し”をし、お家の人と一緒に作った土に植えた種もみはぐんぐん大きくなりました。

「めっちゃ大きくなって」「次はどうするの？」「もうすぐ食べれる？」と自分のバケツの稲の様子を見ながら楽しいおいしい想像を膨らませて笑顔になる子ども達の姿が見られました。

ある日の「バケツの中ぎゅうぎゅうやな」と言う子どもの言葉をきっかけに稲の移し替えの話をしました。「少なくした方がおいしくなるってこと？」「減らした稲はどうする？」と子ども達なりにお米にとって良い方法に納得し、減らした稲の行方を考えていました。

減らした稲はどうしよう？「植えてお米を増やしたい！」という子どもたちの思いもあり、園庭に田んぼを作り植えることにしました。

土が足りない分は地域の方が田んぼの土を分けてくださいました。



水と土をよく混ぜるために1,2,1,2…歩いたりジャンプしたり「ムニョムニョ〜」「足が抜けない♪」「ここ冷たい」など感触や冷たさをそれぞれに感じながら、そして体のバランスをとりながら楽しんでいました。

2026.6.17 そらぐみ⑭

間を開けて、根っこを土にエイトって…

こうかなあ？

田植えスタート

だんだんわかってきた！

ここを持って植えるんだって

田植え完了！

田植え楽しかった♪おにぎりパーティ楽しみ！

※カブトエビも田んぼにいるよ

めっちゃ育ってる！ふさふさ♪

お家の人と稲のお引越し♪

この稲はバケツに残して…おいしいお米になってほしいなあ

足が抜けない…

皆の手と足でしろかき♪

田植えにワクワク♪

歩きにくい〜♪

稲が倒れないようにしっかり植えて…

地域の方が植え方を教えてくださいました。元気な稲をそだてたね♪言ってもらえて大喜びの子ども達♪

毎日バケツをのぞいて「めっちゃ高くなって」「増えてる」「〇〇ちゃんの稲一番育ってた」と自分の稲や友だちの稲を見て変化に気づいたり比べたりして友達と伝え合っていました。自分達で芽出しして育てた稲を無駄にしたくない（おにぎりをいっぱい食べたいという思いも含めて）という子どもの思いとバケツと田んぼのお米、どちらも経験して欲しい教師の願いとが重なり、そしてJAさんのプロジェクト、地域の方々のご協力のおかげで貴重な経験をすることができました。より“おにぎりパーティがしたい”というクラス皆の思いが強くなったと思います。お米の生長の過程を間近で見る子どもの気づきを大切にしながら、おにぎりパーティに向かって大切に育てていきたいです。